



「これまでの暗殺事件には不思議な共通点が....そして世界が変わる」

ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2024年08月02日配信号

皆様こんにちは。

7月は案の定、世間は賑やかでしたね...

出来事を振り返ると、

- ・ 7月14日トランプ暗殺未遂、神がかり的に飛んできた弾をよける！
- ・ 7月15日から中国・ロシアの合同軍事演習
- ・ 7月19日マイクロソフトが世界規模の大規模障害
- ・ 7月22日東海道新幹線が保守用車脱線事故で運転見合わせ、25万人に影響
- ・ 7月22日ゼレンスキーをプーチンと言い間違え、いよいよバイデンが大統領選撤退
- ・ 7月22日史上最低の支持率、不支持率の方が上回る、ハリス副大統領が立候補表明
- ・ 7月31日日銀が政策金利17年ぶりの利上げへ踏切、そして一気に円高へ。
日経平均株価は暴落。

色々あったなと思います。

その中でも、とうとう仕掛けてきましたねー、トランプ暗殺。

もうこのトランプの勢いは止められないし、前回みたいな大規模不正は難しいと判断した上での凶行でしょう。

これはちょうど2年前の安倍元首相暗殺とも非常に共通点が多く、トランプ自身も「シンゾーは奴らにやられた」と意味深なコメントを残しています。

まず第一に、あまりにずさんな警備体制です。

通常半径400メートル以内の高所はすべて監視下に入るはずですが、犯人は130メートルからの狙撃を行っています。

元自衛隊の陸将は、130メートルなんて近い所から9発も打てば、普通は絶対当たるとおっしゃっていました。

SPの警備は大統領の直轄機関が指揮していますので、トランプからの警備強化依頼を却下していました。

また同じ民主党だったロバート・ケネディーJr.が対抗馬として出馬しましたが、彼にはSPを一人もつけていません。

基本的に大統領候補にはすべてSPがつくはずですが、父と叔父を暗殺されたケネディー候補にSPを付けないなんて、いくらなんでもひどすぎますよね。

民主党に愛想をつかしたケネディーJr.は民主党を出て、トランプ候補と共闘しようという動きを見せている点も、前代未聞のことで、今回の大統領選のまた一つの見どころになる可能性がでています。

話を元に戻しますと、「ライフルを持ったやつがビルをよじ登っている！」との通報があったにも関わらず、警察が動いていないという、「ひょっとして警察もグル？」と思われる点が多数あるのも共通点です。

しかも今回の場合、警備側の狙撃手が犯人を確認してから40秒以上も撃ってない点（普通は発見次第狙撃）

また、犯人を射殺してしまっている点（動機や背後関係の捜査のために殺さず無力化がセオリー・口封じ？）など不可解な点が多数見られます。

また射殺された犯人以外に複数の狙撃手がいたと思われる点が3つ目の共通点です。近くの給水塔にも人がいるとの通報があったり、打たれて亡くなった人がトランプよりも上段にいた人であった点も似ていて、安倍元首相の背後で、なおかつ下から山上が水平撃ちしているのにもかかわらず、弾が首から入っています。これらの共通点はケネディー暗殺にもみられます。

因みに今まで暗殺に遭った大統領は、ケネディー以外はすべて共和党で、ケネディーは民主党にもかかわらず、政策はかなり共和党寄りだったとされています。また未遂に終わったとはいえ、実際に撃たれた大統領・元大統領もほとんどが共和党です。こうした流れを見ると、だいたい犯人は予想できますよね。

しかし安倍首相暗殺が暗殺されてから2年もたつのに、裁判さえ始まらないとはいったいどういう事でしょうか？
あまりにもにも辻褄が合わないことばかりなので、公判を維持することが難しいというのが実際の所でしょう。
そうすると、ケネディ暗殺の時と同じように、犯人を獄中で不審死にするしかなくなるでしょうね。
ケネディー暗殺の時は、暗殺者とされるオズワルドが移送中にジャック・ルビーに射殺され、そのジャック・ルビーが獄中で死亡という2段階右折のような手の込んだ手法で迷宮入りさせました。

とはいえアメリカはトランプ暗殺未遂後、すぐに議会で与野党を超えた超党派で追及を行い、警備責任者が辞任しています。
いっぽう我が国では、安倍元首相が亡くなっているにもかかわらず、国会で調査すら行われず、奈良県警の報告のみというグダグダぶりです。
本来であれば「奈良県警も捜査対象になるべきだ」と当時私も吠えていましたが、安倍氏に世話になった安倍派の幹部からもこの様な声が上がらなかったということは、我が国の方が病巣は大きいように思います。

余談ですが、このトランプという男、鋼のメンタル&強運の持ち主ですよね。
100件近い訴訟を抱えながら大統領選のキャンペーンを優位に進め、更にその間に自身のSNSを上場し1兆円近くの資産を新たに作り、おまけに飛んできた鉄砲玉までよけるとは...
少しは私も見習いたい所です。

「もしトラ」から「確トラ」にムードが変わり、明るい話題があります。
ここ一年過去最高値を更新し続けた豚肉価格が下がってきました。
ご存じのように、ずっと円安傾向であった為替が急激に円高に反転しており、トランプが大統領に返り咲けば、さらに円高になりそうです。
更にウクライナ戦争も終結に向かい、穀物価格も安定してくると思われまます。
大統領選の行方はまだまだわかりませんが、しばらくは食品価格は下がっていき、皆さんの生活にもいくらかゆとりが出てくるのではないのでしょうか...

食肉価格の下落について、直近の記事資料、牛肉の記事ですが...ご参考につけておきます。
[20240802082424686.pdf](https://www.foxnews.com/health/2024/08/02/20240802082424686.pdf)

ブラックスワン食糧保障
草間 弘人